

平成30年7月10日(火)

第9回魅力ある教育づくり審議会



(1) OECDにおける
キーコンピテンシーについて

(2) 「主体的・対話的で深い学び」

門真市教育委員会

学校教育課 門真市教育センター

(1) OECDにおける キーコンピテンシーについて

OECD(経済協力開発機構)
→1948年設立・現在35か国加盟



① OECDがキーコンピテンシーの 検討を始めた経緯と時代背景

子どもたちがこれから生きる
時代背景を表す3つの言葉

変化

複雑性

相互依存

○このような時代背景を前提として、子どもたちが将来直面する問題に対処するための必要な力を身に付ける教育が必要

○各国共通のコンセプトとして定義することが必要

1997年に検討開始

2002年 OECDがキーコンピテンシーの定義を発表

②キーコンピテンシーとは？

【コンピテンシーの概念】

→コンピテンシー(能力)とは単なる知識や能力だけではなく、技能や態度をも含む様々な心理的・社会的なリソース(資源)を活用して、特定の文脈の中で複雑な要求(課題)に対応することができる力

【キーコンピテンシーの定義①】

→「キーコンピテンシー」とは、日常生活のあらゆる場面で必要なコンピテンシーを列挙するのではなく、コンピテンシー中で、特に、

- ① 人生の成功や社会の発展にとって有益
- ② さまざまな文脈の中で重要な要求(課題)に対応するために必要
- ③ 特定の専門家ではなくすべての個人にとって重要

といった性質を持つとして選択されたもの

【キーコンピテンシーの定義②】

→個人の能力開発に十分な投資を行うことが社会経済の持続可能な発展と世界的な生活水準の向上にとって唯一の戦略

③キーコンピテンシーの3つのカテゴリー

①社会・文化的、技術的ツールを相互作用的に活用する能力（個人と社会との相互関係）

②多様な社会グループにおける人間関係形成能力（自己と他者との相互関係）

③自律的に行動する能力（個人の自律性と主体性）

③キーコンピテンシーの3つのカテゴリー

3つの枠組みの中心にあるのは、
個人が深く考え、
行動することの必要性



これは日本の学習指導要領の…

生きる力

新学習指導要領がめざす
資質能力の3つの柱

にも深く結びついている…

(2)「主体的・対話的で 深い学び」



学びを人生や社会に
生かそうとする
学びに向かう力・人間性等

「確かな学力」「健やかな体」「豊かな心」を
総合的にとらえて構造化

生きて働く
知識・技能

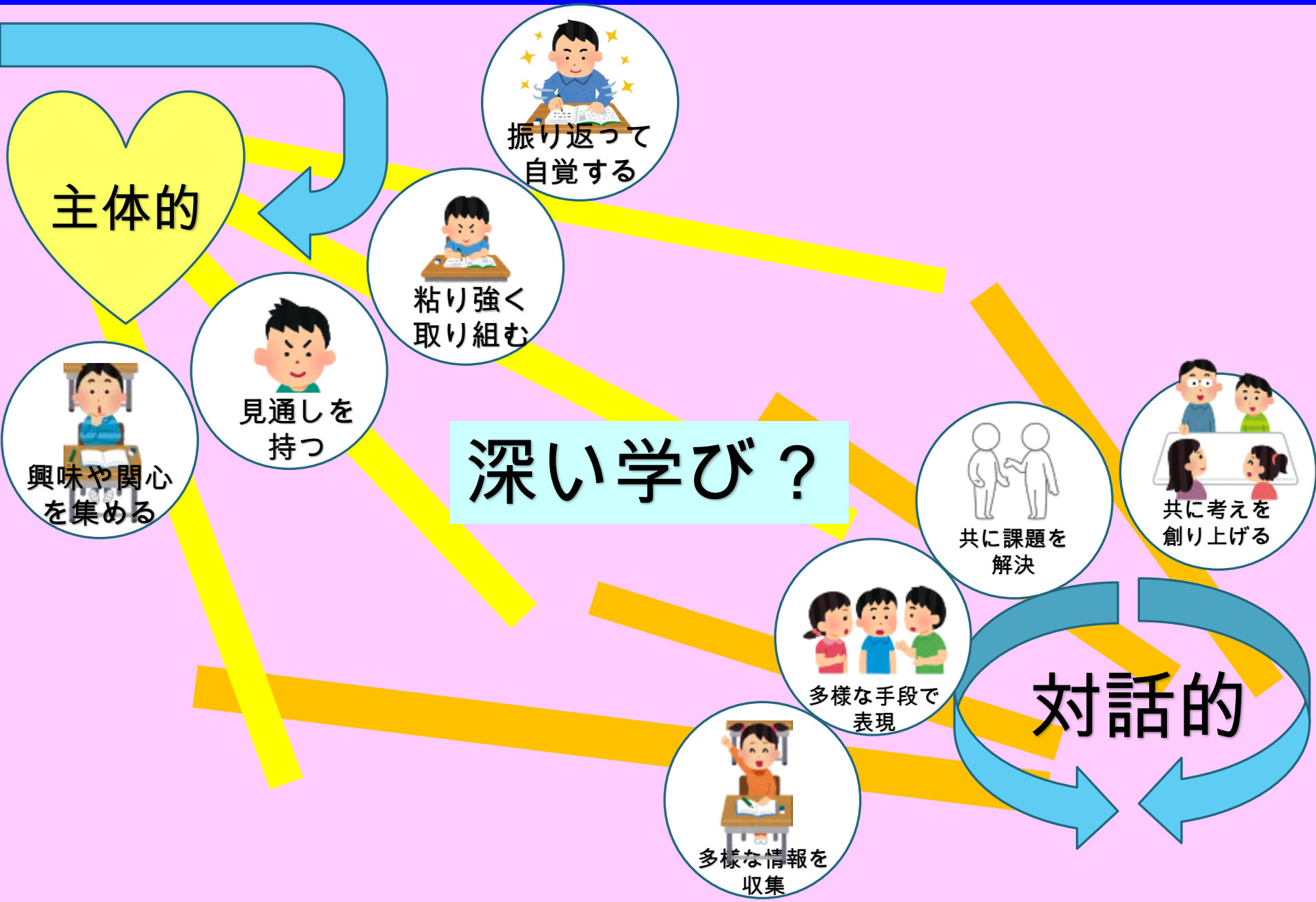
未知の状況にも
対応できる
思考力・判断力・
表現力等

これからの時代に必要な資質・能力を育むために、指導者の不断の授業改善への姿勢が求められています。子どもたちそれぞれの興味や関心を基に、一人一人の個性に応じた多様で質の高い学びを引き出すことが大切です。

次期学習指導要領では、資質・能力の育成に必要な授業改善の「三つの学びの視点」を示しました。



* ◎主体的・対話的で深い学びを実現する子どもの姿



* ◎深い学びの実現に向けて

子どもが、切実な課題を解決するプロセスを通して、試行錯誤しながら他者とともに解決を図り、身に付けた知識や技能を活用・発揮し、学んだ手ごたえとして実感する

次の学びへ

深い学び

前時の成果



課題を発見する



解決の方向性を見出す



思考し解決に向かう



知識技能を習得活用する



知識技能を構造化する

切実な課題設定

既習や経験と関連付けた思考の促進
教科固有の見方・考え方を働かせる

知識技能の適用を促す

導入

展開

終末

主体的な学び

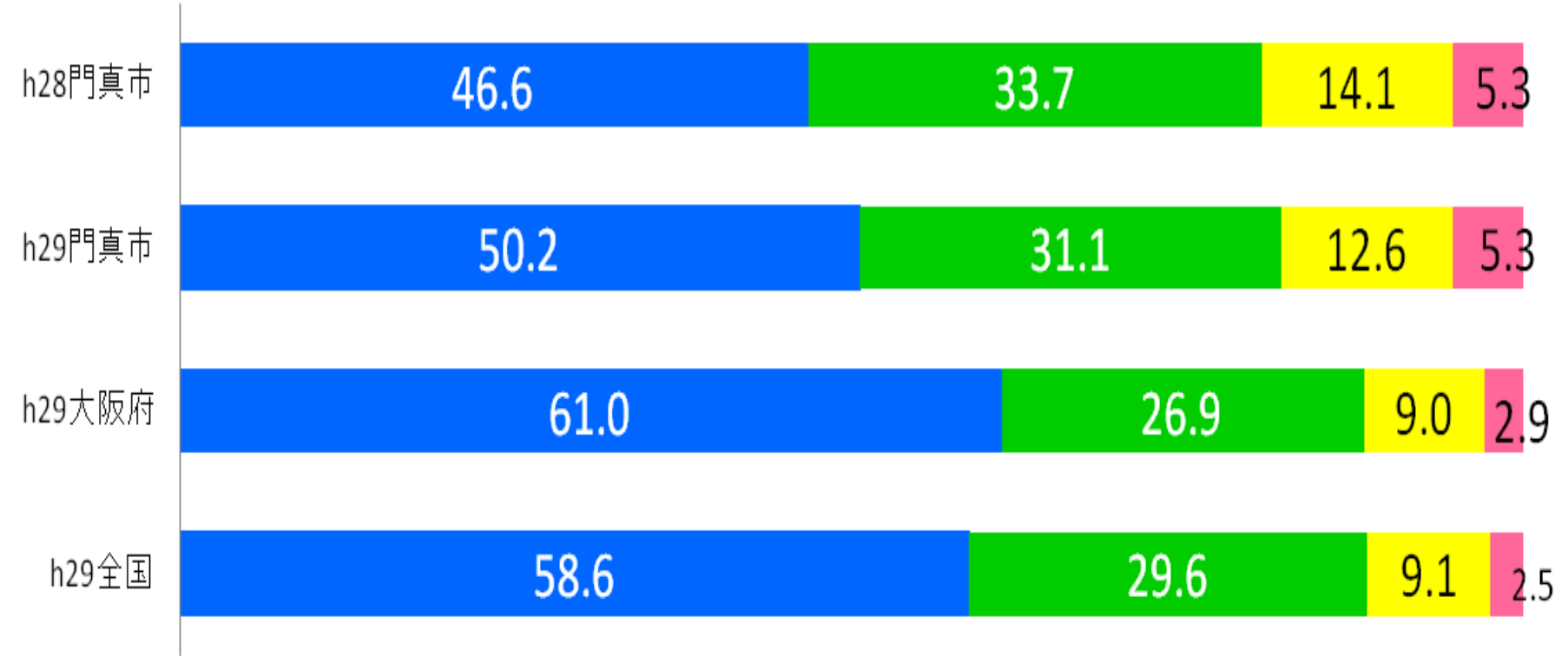
学ぶことに興味や関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性に関連づけながら、**見通しを持って**粘り強く取組み、自らの**学習活動を振り返って**次につなげる「**主体的な学び**」が実現できているか。

全国・大阪府の割合
と
門真市の割合

大阪府の児童は、87.9ポイント
門真市の児童は、81.3ポイント

授業の中で目標(めあて・ねらい)が示されていたと思う(小学校)

■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない

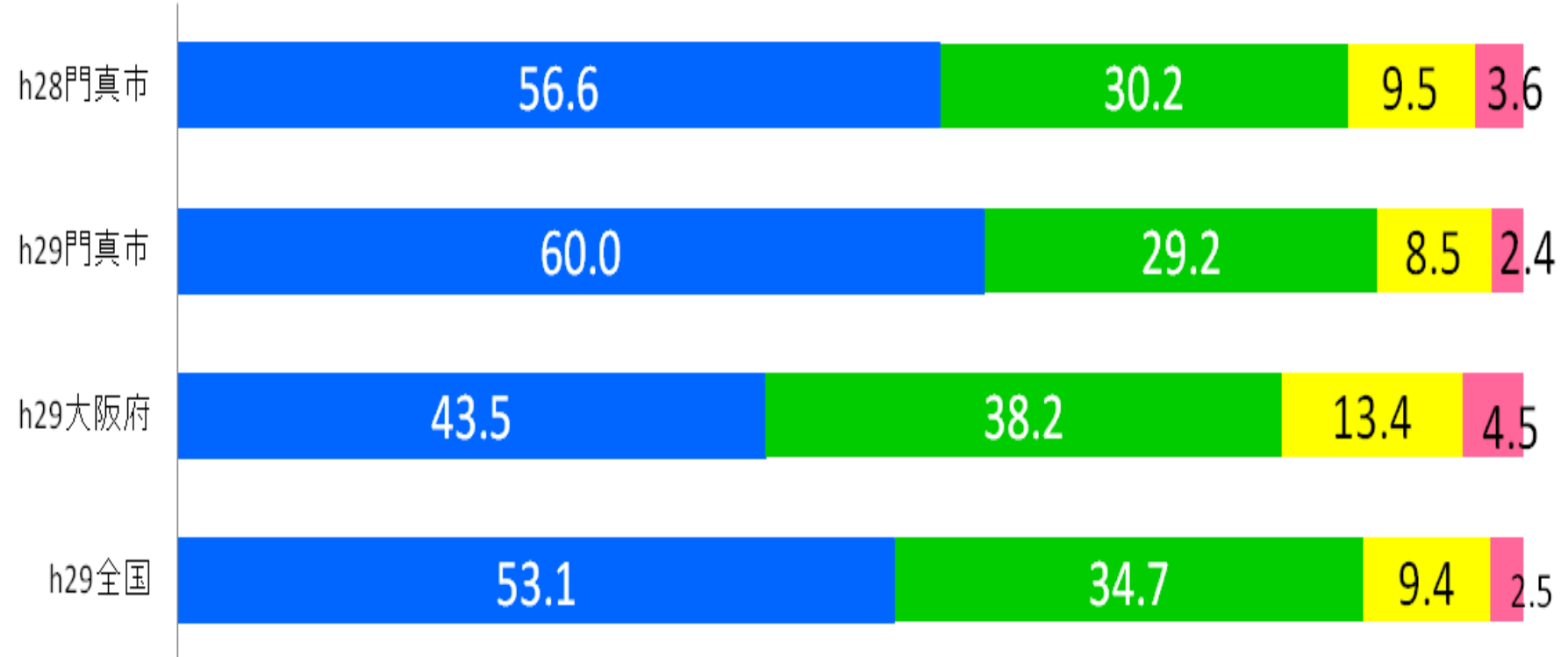


全国・大阪府の割合
と
門真市の割合

大阪府の生徒は、81.7ポイント
門真市の生徒は、89.2ポイント

授業の中で目標(めあて・ねらい)が示されていたと思う(中学校)

■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない

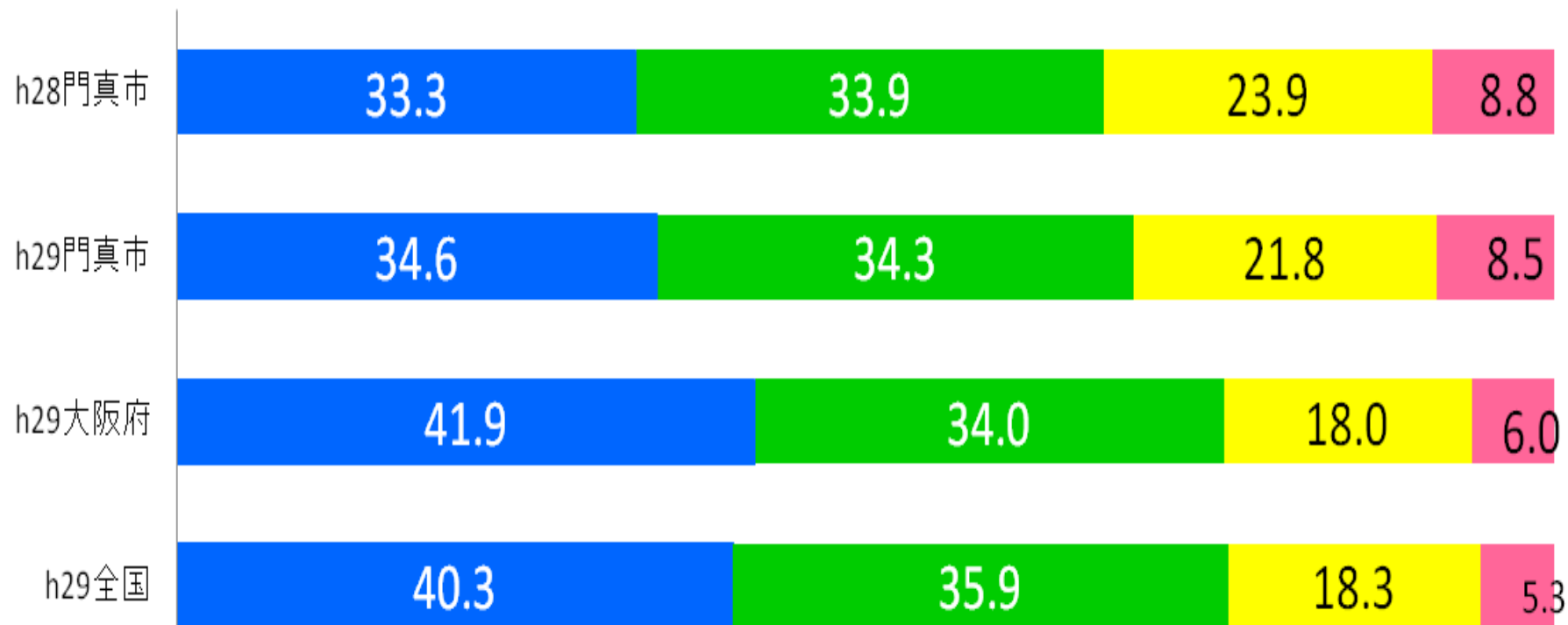


全国・大阪府の割合
と
門真市の割合

大阪府の児童は、75.9ポイント
門真市の児童は、68.9ポイント

授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思う(小学校)

■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない

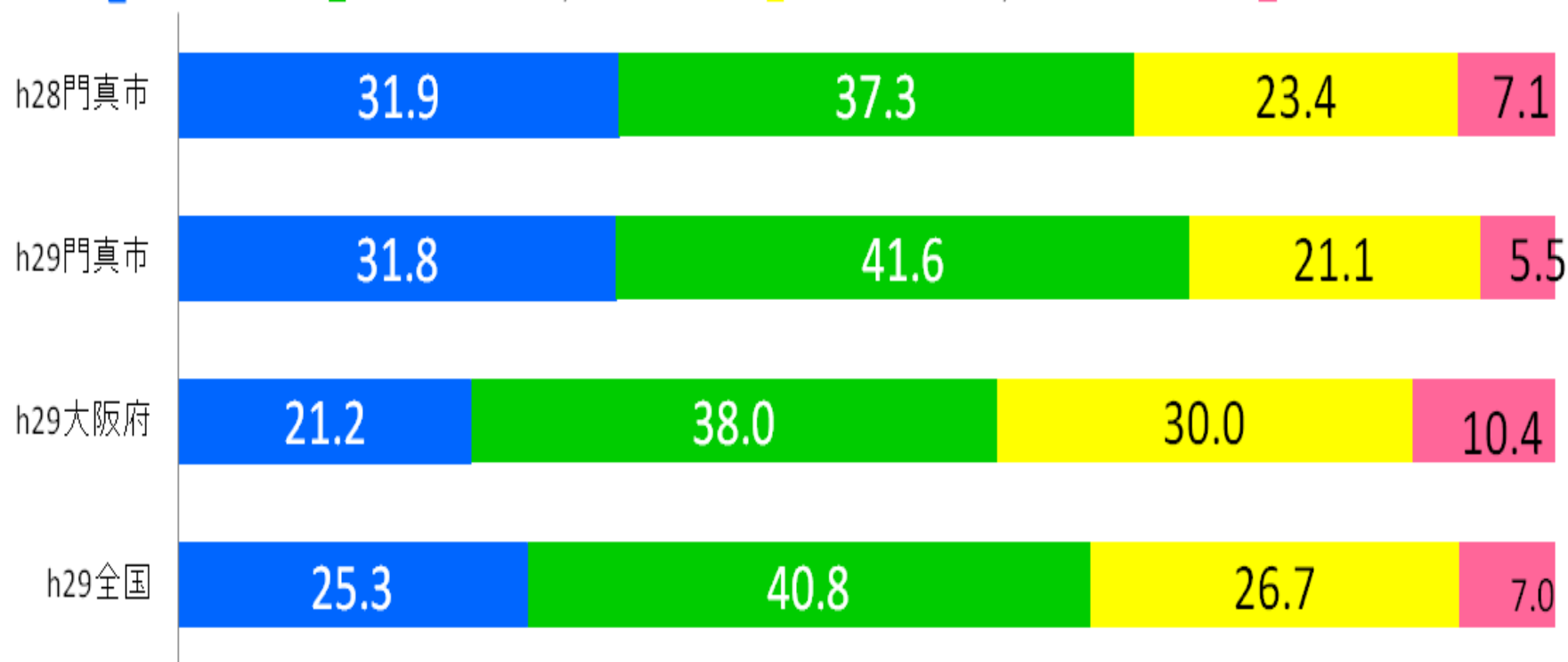


全国・大阪府の割合
と
門真市の割合

大阪府の生徒は、59.2ポイント
門真市の生徒は、73.4ポイント

授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思う(中学校)

■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない

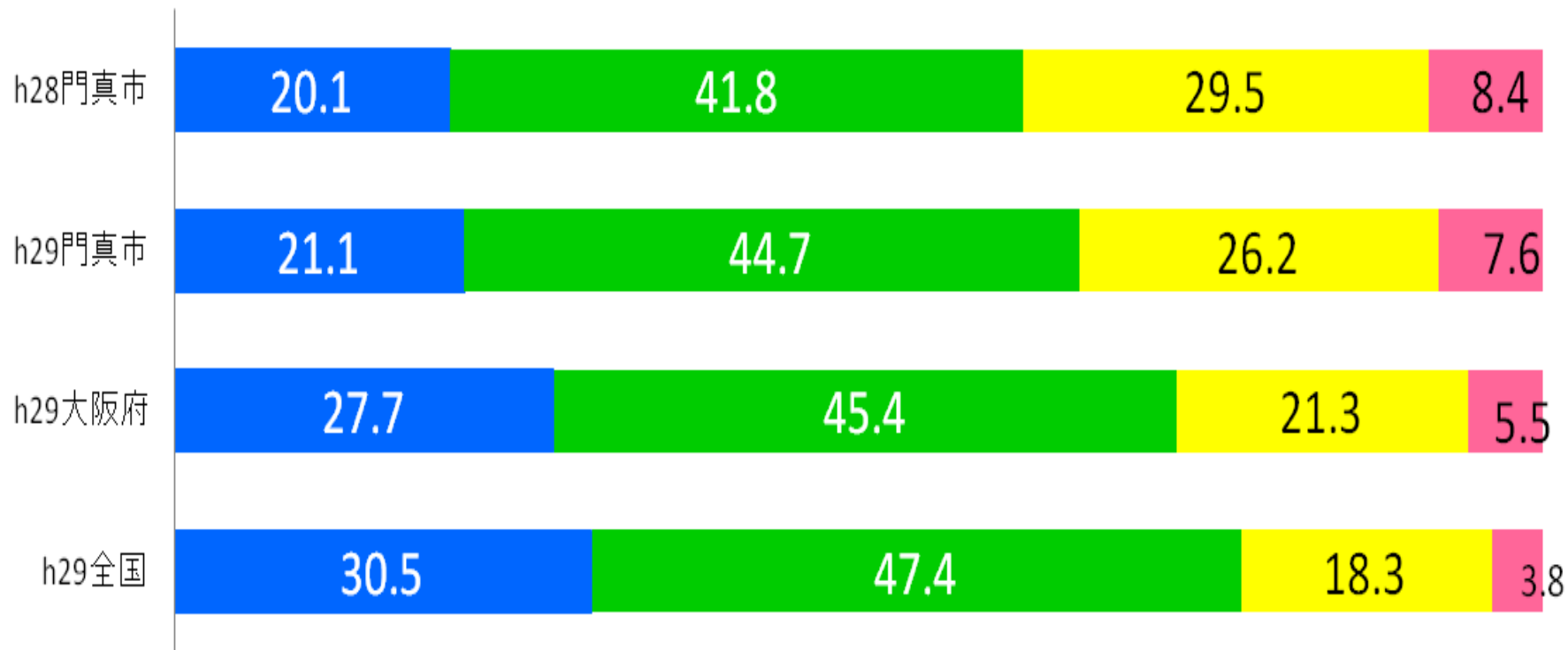


全国・大阪府の割合
と
門真市の割合

大阪府の児童は、73.1ポイント
門真市の児童は、65.8ポイント

先生から示される課題や、学級やグループの中で、
自分たちで立てた課題に対して、自ら考え、自分から取り組んでいる(小学校)

■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない



全国・大阪府の割合
と
門真市の割合

大阪府の生徒は、66.1ポイント
門真市の生徒は、65.0ポイント

先生から示される課題や、学級やグループの中で、
自分たちで立てた課題に対して、自ら考え、自分から取り組んでいたと思う(中学校)

■当てはまる ■どちらかといえば、当てはまる ■どちらかといえば、当てはまらない ■当てはまらない



対話的な学び

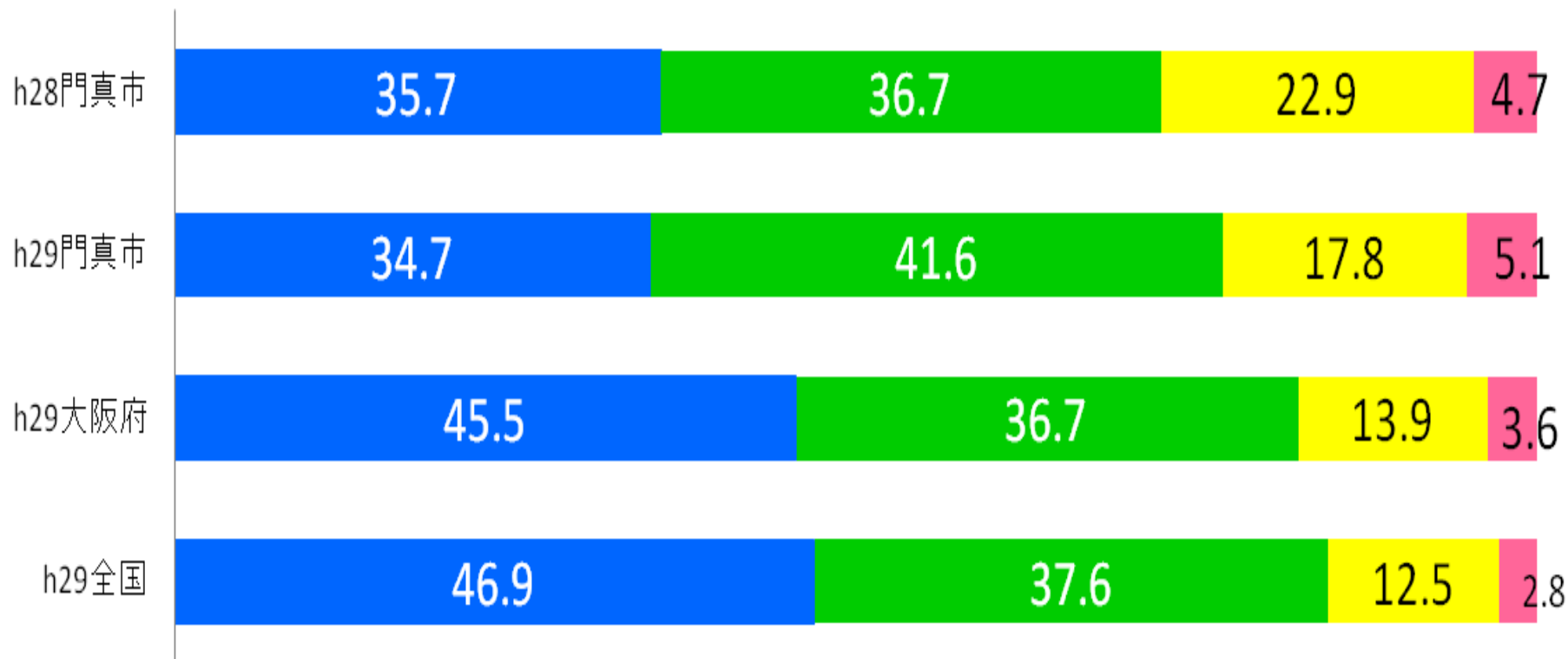
子供同士の協働、教員や地域の人との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、自らの考えを広げ深める「**対話的な学び**」が実現できているか。

全国・大阪府の割合
と
門真市の割合

大阪府の児童は、82.2ポイント
門真市の児童は、76.3ポイント

授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていたと思う(小学校)

■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない

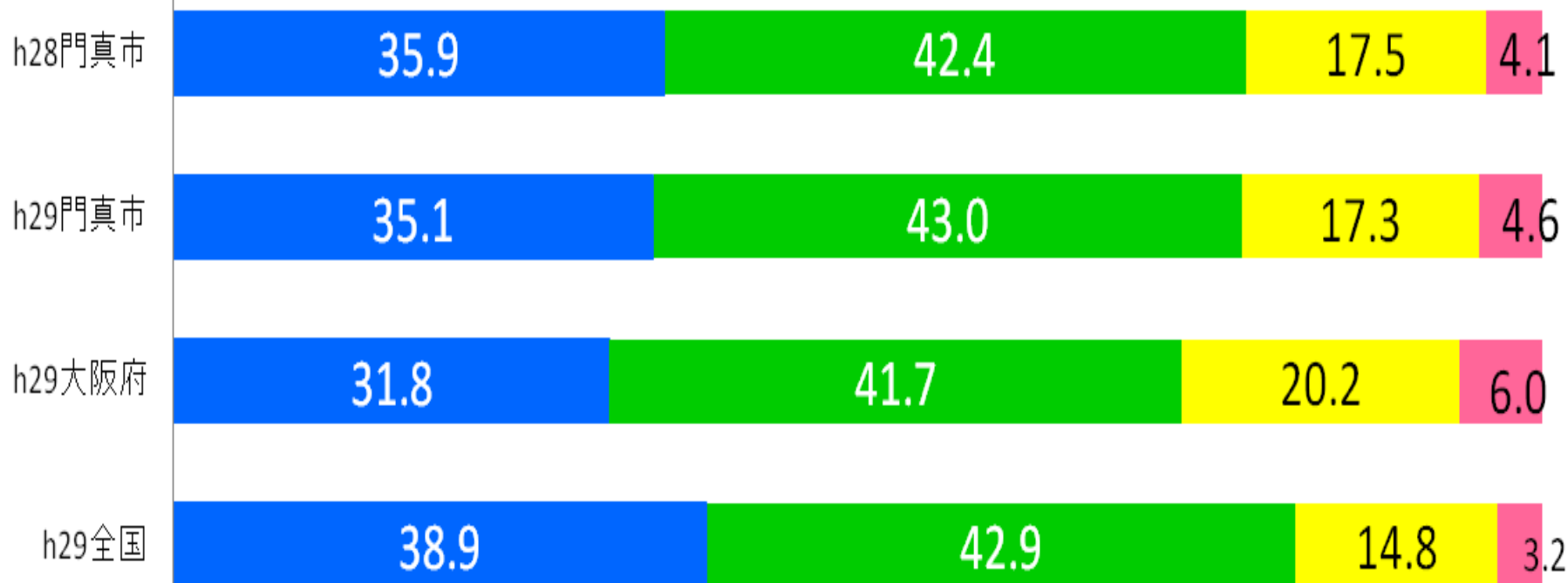


全国・大阪府の割合
と
門真市の割合

大阪府の生徒は、73.5ポイント
門真市の生徒は、78.1ポイント

授業では、生徒の間で話し合う活動をよく行っていたと思う(中学校)

■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない



深い学び

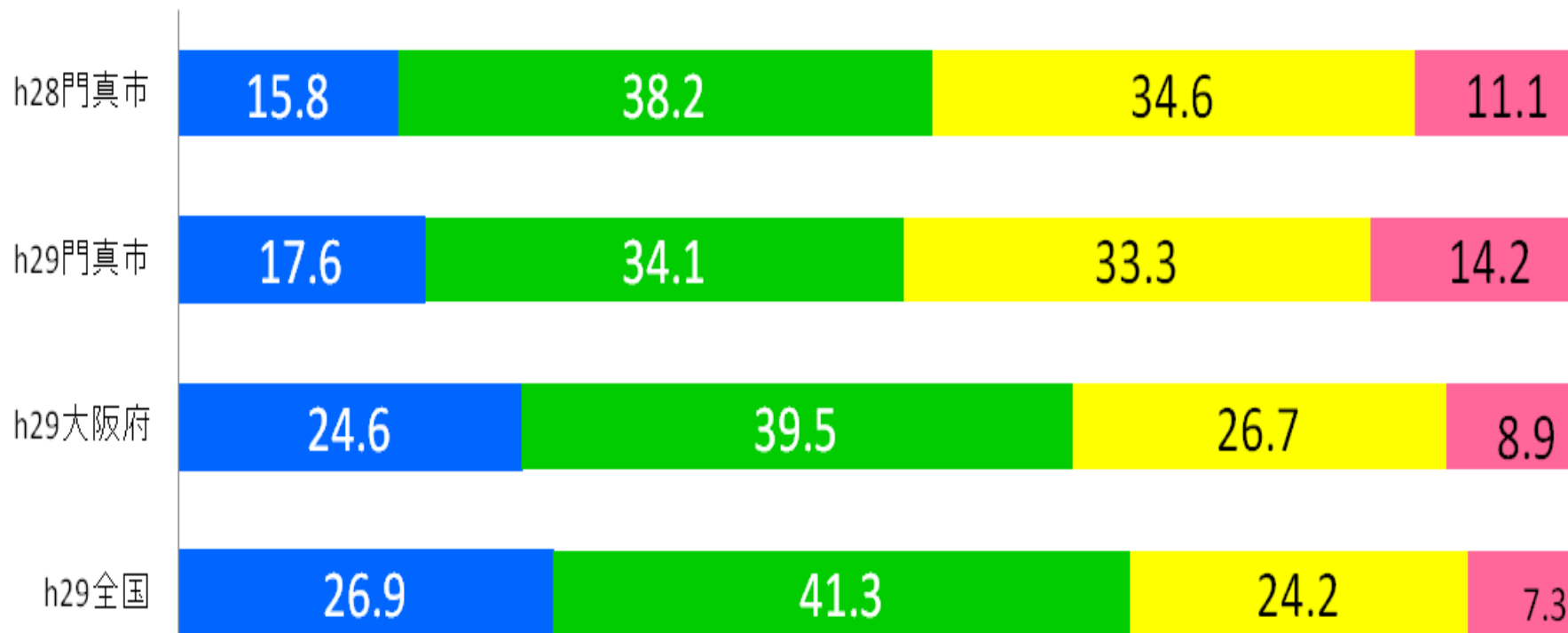
習得した知識や考え方を活用した「見方・考え方」を働かせながら、問いを見いだして解決したり、自己の考えを形成し表したり、思いを基に構想、創造したりすることに向かう「**深い学び**」が実現できているか。

全国・大阪府の割合
と
門真市の割合

大阪府の児童は、64.1ポイント
門真市の児童は、51.7ポイント

学級の友達との間で話し合う活動を通じて、
自分の考えを深めたり、広げたりすることができる(小学校)

■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない

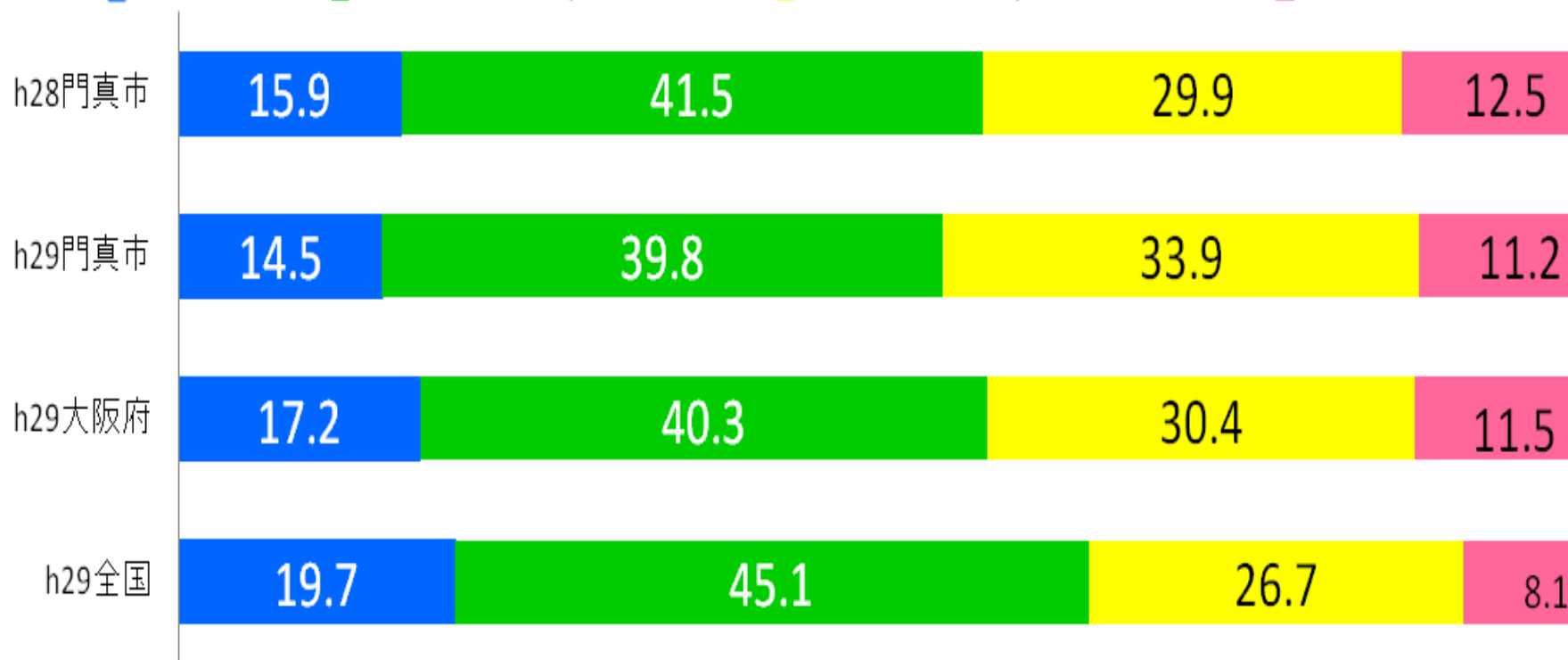


全国・大阪府の割合
と
門真市の割合

大阪府の生徒は、57.5ポイント
門真市の生徒は、54.3ポイント

生徒の間で話し合う活動を通じて、
自分の考えを深めたり、広げたりすることができる(中学校)

■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない



【グラフからわかること・・・】

○中学校は知識重視型の授業から大きく改革が意識して行われており、生徒も実感している。

○小学校も以前から「主体的・対話的な授業づくり」に取り組んでおり、年々児童も意識して取り組むことができている。ただ全国平均よりは離れていることから、さらなる授業改革や環境づくりが必要である。

○小中学校とも「深い学び」の実現には課題がある。児童・生徒が自分の考えを深めたり・広げたりできた実感できるような授業づくりや環境を整備することが大切である。

門真市の学校での取り組み (対話的で深い学び)

2年国語
場面のよいところ
をペアで紹介。

5年国語
班で段落の順
番を考える。

3年国語
音読の読み方
を班で考える

自分が持っている情報や考えを
生かし、共に解決し創り上げる。



門真市の学校での取り組み（主体的で深い学び）

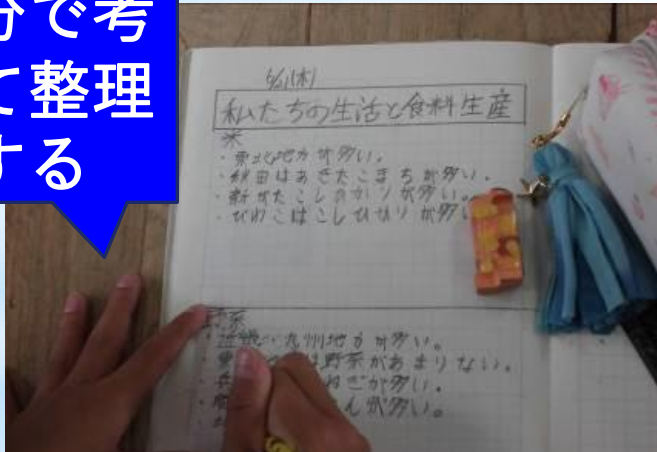
5年社会
産地調べの地
図づくりをグ
ループで



地図をもとに
気づいたこと
を考える



もう一度
自分で考
えて整理
する



みんなで意見
を出し深める



興味や関心を高め、自分と
結び付けながら振り返る。

H30 門真市研究指定校 研究テーマ

【3年目】

大和田小学校	認め合い、高め合う集団、粘り強く追究する個の育成をめざして ～ことばの力を育む授業づくり～
北巢本小学校	主体的・対話的で深い学びを通して、深い学びにつなげられる授業づくり
東小学校	「子どもが主体的に学び合い、高め合う授業」 ～教科を通じて力を育む～

H30 門真市研究指定校 研究テーマ

〔2年目〕

上野口小学校	「主体的・対話的で深い学び」を中心とした授業づくりの研究
脇田小学校	「意欲を高め、夢を描き、未来を創ることどもたちの育成」
第三中学校	夢や希望を持ち、意欲的に取り組む生徒の育成

H30 門真市研究指定校 研究テーマ

【1年目】

門真小学校	未来へ向けた生きる力の構築 ～新学習指導要領に基づく授業改善と学力向上に向けた学校組織体制の改善～
四宮小学校	単元指導目標を意識した授業づくり～書くための手立てや教材の工夫をしよう～
門真はすはな 中学校	「互いに認め合い、思いやる心豊かな生徒の育成」「主体的に学び、高め合う生徒の育成」を基本にすべての教育活動においてのキャリア教育の推進

門真市研究指定校の研究テーマより・

→各校も新学習指導要領がめざす資質・能力の育成に向けて、「主体的・対話的で深い学び」の実現をめざした授業づくりの研究活動に取り組んでいる。

→市教育委員会としては、予算だけではなく、各校の研究活動の支援を行うためにも各学校の課題をふまえ、さまざまな環境づくりを支援することが必要である。

H30 市教育委員会の施策・方針

①門真市授業ベーシック版の作成

→単元のまとまりを意識し、その中で「主体的・対話的で深い学び」の実現をめざすとともに、訪問研修により教職員の意識づくりを行う。

②指導主事担当校訪問のシステム化

→担当校を指導・支援する中で学校の課題を踏まえ、共同研究者として「主体的・対話的で深い学び」の実現をめざした授業研究を行う。

③戦略的な発信

→学校現場へ随時発信し、新学習指導要領の趣旨の共通理解を図り、多くの実践を共有する。また市民への発信も行い、教育の目標を共有する。

ご静聴ありがとうございました。

